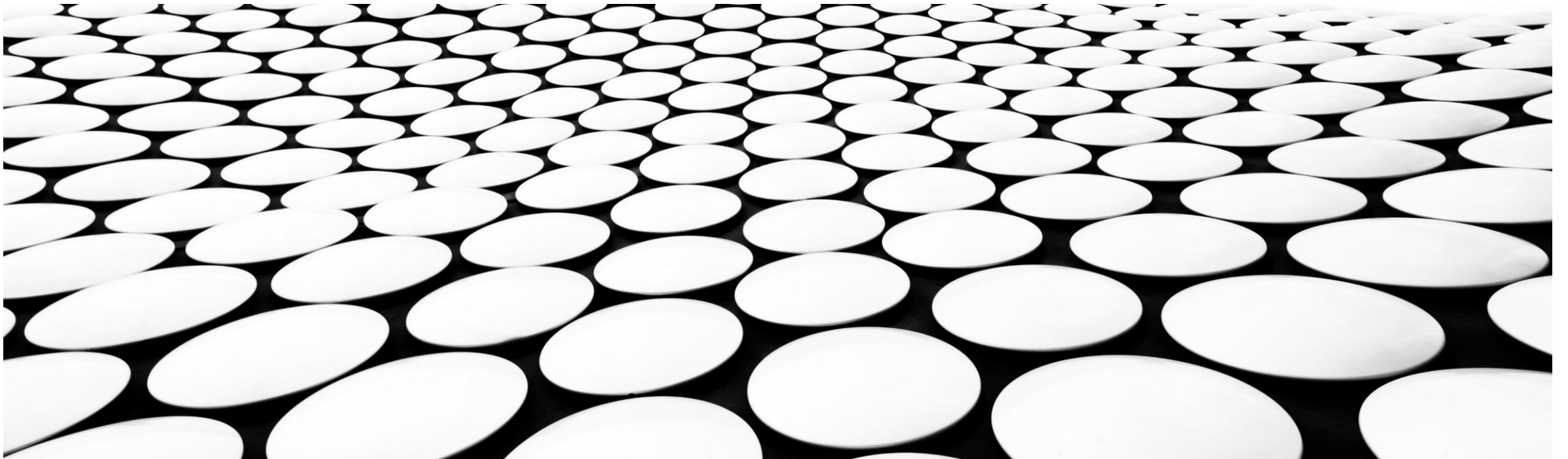


牛マイコプラズマPCR 主要3菌種同定 受託開始について
最短で翌日に菌名を報告 ～ 2026年7月より受託開始

札幌臨床検査センター株式会社



『牛マイコプラズマPCR主要 3 菌種同定検査について』

マイコプラズマ乳房炎は感染力が非常に強く、かつ治療効果が得られにくいいため、早期診断および感染牛の隔離・淘汰が重要とされています。その理由から、正確性と迅速性に優れたPCR検査の活用が推奨されています。

しかしながら、現在受託中のPCR検査は、培養により菌株を分離した後に実施する必要があり、結果報告までに6～8日間を要する点が課題となっておりました。

この課題を解決すべく、弊社では極東製薬工業株式会社と共同で、リアルタイムPCR検査の開発に取り組み、このたび検査キットを完成いたしました。

本検査キットは、リアルタイムPCR法を採用することで、培養から電気泳動までを不要とし、検体の前処理から約3時間で結果の取得が可能となり、従来と比較して大幅な検査時間の短縮を実現しました。

さらに、本検査キットは、乳房炎の主要な原因菌3菌種を同時に同定可能であり、陽性時には主要3菌種の特特定まで行うことが出来ます。これにより、現場における迅速な診断および適切な初動対応に大きく貢献いたします。

『牛マイコプラズマPCR主要 3 菌種同定検査について』

■ 主要3菌種とは…

* マイコプラズマ乳房炎の原因菌とされている主要3菌種

1) *M. bovis* (ボビス)

2) *M. bovis genitalium* (ボビジェニタリウム)

3) *M. californicum* (カルフォルニカム)

■ 検査実施について……

* 従来法 …外注委託

* 新キット…自社測定 札幌臨床検査センター株式会社 札幌本社

■ 検査材料について…

* 乳汁 (バルク乳可)

	現状PCR	新PCR
検査方法	培養⇒PCR⇒電気泳動 工程が複雑で技術者の習熟が必要	リアルタイムPCR法 工程がシンプル
検査時間 所要日数	培養72時間+PCR3時間 6～8日	前処理+PCR=約3時間 1～3日（最短翌日報告）
検査結果	陰性 or 陽性	陰性 or 3菌種同定（菌名報告） <i>M.bovis</i> <i>M.bovigenitalium</i> <i>M.californicum</i>
料金	定価 1,200円	定価 2,000円
3菌種同定	追加 2,000円 ★合計3,200円	なし ★合計2,000円